



資源循環、カーボンニュートラルに向けたPSジャパンの取組み

～ケミカルリサイクルとバイオマスでポリスチレンの新時代へ ➡ ～

2026年2月20日
PSジャパン株式会社

会社名	PSジャパン株式会社
設立	2003年4月
株主	旭化成62.07%、出光37.93%
事業内容	ポリスチレン（PS）樹脂 専門メーカー
人員数	約180人
工場	千葉（袖ヶ浦）、岡山（水島）の東西2拠点
販売	国内シェアNo.1
主原料	スチレンモノマー、合成ゴム

AsahiKASEI

 idemitsu



ポリスチレン製品

食品容器



飲料容器



家電、雑貨他



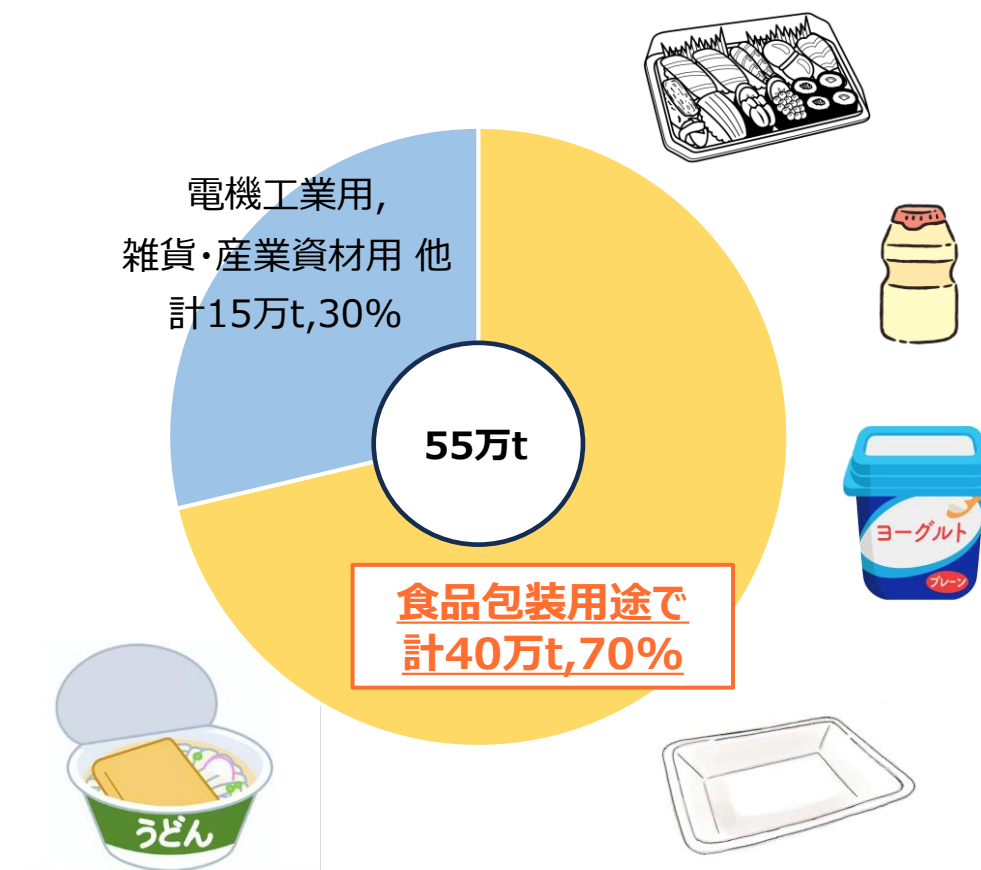
PSの特長

種類	GPPS (General Purpose PolyStyrene) 一般的なポリスチレン HIPS (High Impact PolyStyrene) 耐衝撃性ポリスチレン
特長	GPPS/HIPS共通 <ul style="list-style-type: none">✓ 成形加工性、寸法安定性に優れる✓ 嵌合性に優れる GPPS特有 <ul style="list-style-type: none">✓ 透明性に優れる✓ 発泡性に優れる (高倍率可能) HIPS特有 <ul style="list-style-type: none">✓ ゴム成分を加えているため耐衝撃性に優れる

乳酸飲料容器や食品トレー (本体、蓋材)、カップ麺容器等、食品包装容器で広く採用されている

PS用途 (2024年)

- ✓ 国内では食品包装容器が7割を占める。



環境課題

欧州の動向と国の政策・法規制

PSJの取組み

気候変動

カーボンニュートラル

- 欧州： 企業サステナビリティ報告指令(CSRD) (2023年)
国境炭素調整メカニズム規則(CBAM) (2023年)
⇒ **今後、企業のサステナビリティ情報開示は必須化。**
鉄鋼、電力等の特定品目では域外品に炭素コストが課される。
- 国内： GX推進法の一部改定 (2025年)
 - ✓ 排出量取引制度の法定化 (2026年度開始)
 - ✓ 化石燃料賦課金制度の具体化 (2028年度開始)⇒ **今後、企業のGHG排出量削減に関する取組みは必須化。**

天然資源の 枯渇

資源循環社会

- 欧州： 包装及び包装廃棄物規則(PPWR) (2025年発効)
ELV規則 (2025年修正)
⇒ **今後、企業の再生プラ使用が義務化。**
- 国内： 資源有効利用促進法の一部改正 (2025年)
 - ✓ 容器包装 (食品(PETボトル以外)や医薬品を除く)、家電4品目、自動車、を対象として再生プラスチックの利用計画策定・定期報告が義務化される見通し ※2025年9月末時点
 - ✓ 今後、幅広い事業者を対象とする観点から、対象製品の追加検討や基準見直しが図られていく見通し。⇒ **今後、再生プラスチックの需要は大幅に拡大していく見込み。**

プラスチック ごみ問題

バイオマスプラの導入と社会浸透

- ◆ バイオマスナフサ由来のバイオマスPSの導入と供給先拡大
- ◆ 植物由来原料含有PSの開発
- ◆ バイオマスPSの認知度向上に向けた取組み (特設サイト開設他)



リサイクルPSの導入と社会浸透

- ◆ ケミカルリサイクルPS供給スキームの構築と導入
- ◆ リサイクルPSの認知度向上に向けた取組み (特設サイト開設他)



PSJではリサイクルブランドを2023年に立上げ

➤ バイオマスPS、リサイクルPSとして、PSジャパンは**多様な選択肢**を準備しています。

	ラインナップ	内容	供給開始年	採用実績
バイオマス	バイオマスPS	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオマスナフサを原料とし、マスバランス方式によりバイオマスを割り当てたPS。 ● PSジャパンでは、出光興産からバイオマスSMを、旭化成からバイオマスゴムを調達して生産。 	2023年～ 供給中	パスタ、デザート容器等 乳酸菌飲料容器等
	植物油含有PS	<ul style="list-style-type: none"> ● パーム油を含有したPS。 ● PSジャパンが独自開発したバイオマスPS。 	2023年～ 供給中	デザート容器
リサイクル	ケミカルリサイクルPS ^{※1} 	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用済PSをケミカルリサイクルにより原料化して生産したリサイクルPS。 ● 両親会社が取組みを進める油化事業と連携して2026年度～供給開始予定。 	2026年～ 予定	食品容器（予定）
	メカニカルリサイクルPS 	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用済PSをメカニカルリサイクルして生産したリサイクルPS。 	2024年～ 供給中	電子電機製品部品

※1 モノマー化ケミカルリサイクルの自社プラントは実証運転中

全グレードのバイオマス化を実現

国内の全製造拠点、全製品（GPPS、HIPS、コポリマー、耐熱グレード）においてバイオマスPSの生産、販売が可能です。

安定供給力

両親会社（旭化成、出光興産）で**ISCC PLUS認証**を取得し、バイオマス原料の安定的な調達が可能です。

合併会社としての優位性

親会社の強みを活かし、安定供給、コスト競争力を有するバイオマスPSの提供を目指しています。
2028年度以降、より安定供給が可能となる見込みです。

AsahiKASEI

バイオケミカル製造技術 Revolefin™

バイオエタノールからワンストップで様々な基礎化学品を生産。2030~34年、プラント運転開始目標。



両親会社の強みを活かし、安定的にかつコスト優位性が高い
バイオマスPSが提供可能



SAF（持続可能な航空燃料）

SAF製造による副生バイオナフサによるバイオ品製造開始。2028年度以降供給開始。

モノマー化CRの課題

- ✓ 使用済みPSの回収スキーム整備が必要
- ✓ リサイクル原料に品質制限がある



商業化には時間とコストの面で課題があり、
社会実装にはさらなる検討が必要。

油化CRの進展

PSジャパンの親会社である旭化成 & 出光興産が油化事業を推進中。

油化CRの特長

- ① 混合使用済みプラの受入れが可能 (PP、PE、PS)
- ② モノマー化CRより早期に供給体制整備が進んでいる
- ③ 事業/装置規模面でモノマー化CRよりコスト競争力あり

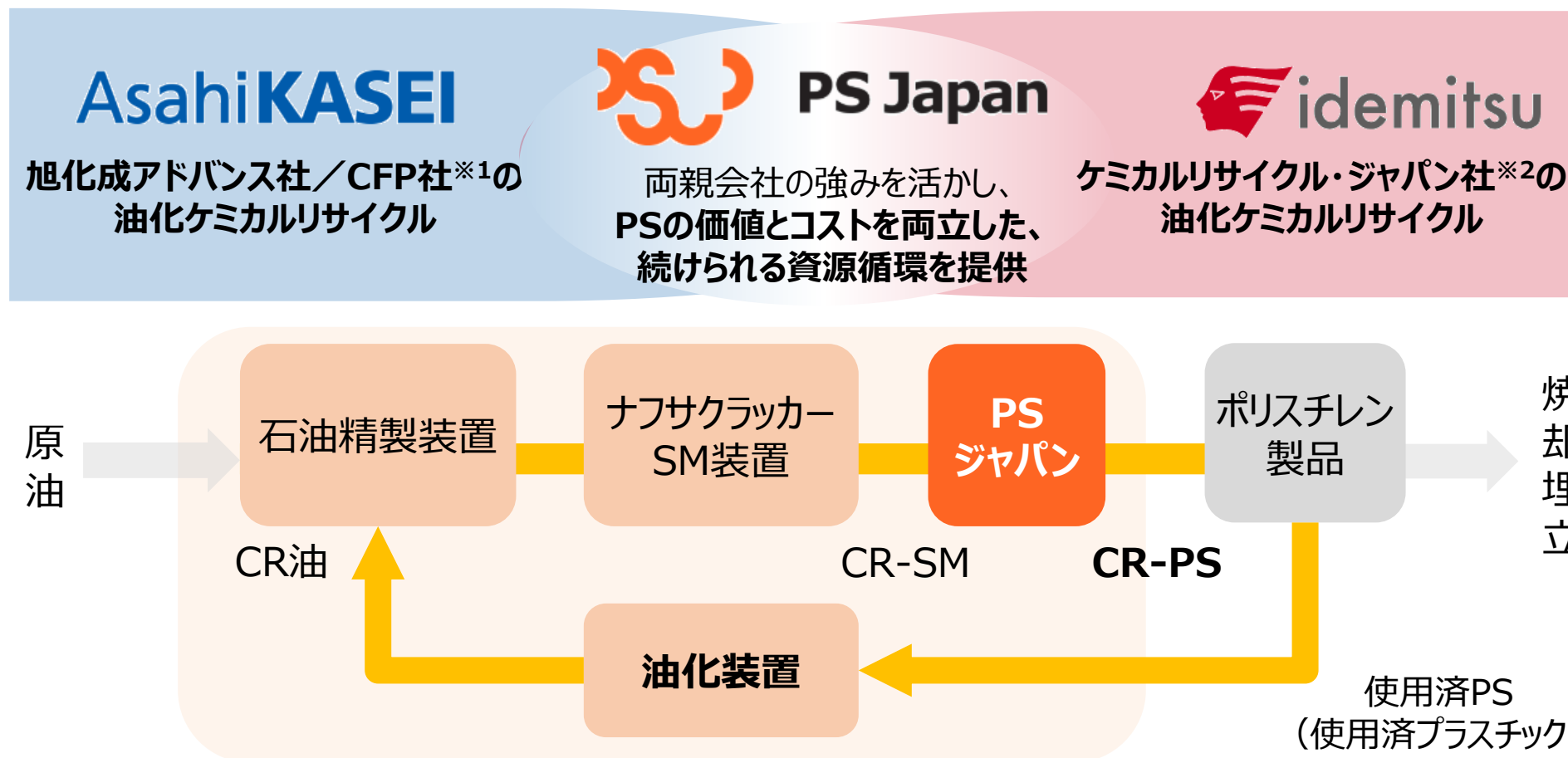
連携企業・取組み内容	所在地	r-PS供給 開始時期	供給スキーム
CFP社-旭化成Gとの取組み	岡山	26年上期～	CFP社(旭化成アドバンスがキャパライト保有) →旭化成→PSJ
CRJ社 (出光興産G) との取組み	千葉	26年上期～	CRJ→出光興産→PSJ

※1 廃プラ油化プラントを自社開発し、2023年度から岡山でプラント開設し、現在稼働中。

※2 出光興産の子会社で、使用済みプラスチックの再資源化を目指し、出光興産の千葉事業所隣接地に油化ケミカルリサイクル装置を建設中。

PSジャパンのケミカルリサイクルPS供給スキーム

- ✓ PSジャパンは旭化成アドバンス社／CFP社の油化ケミカルリサイクル、ケミカルリサイクル・ジャパン社（出光興産子会社）の油化ケミカルリサイクル、それぞれ取り組みを進めています。
- ✓ 両親会社との協働体制を活かし、26年度上期からいよいよケミカルリサイクルPSの供給を開始します。



※1 廃プラ油化プラントを自社開発し、2023年度から岡山でプラント開設し、現在稼働中。

※2 出光興産の子会社で、使用済みプラスチックの再資源化を目指し、出光興産の千葉事業所隣接地に油化ケミカルリサイクル装置を建設中。

ケミカルリサイクルPS供給スキーム例『瀬戸内資源循環PJ』

- ✓ シーピー化成社を中心とした7社が連携し、スーパーマーケットの店頭で回収した使用済みプラスチック食品容器を油化ケミカルリサイクルにより再資源化、再びプラスチック食品容器として再生・活用する

「瀬戸内資源循環プロジェクト」が26年からスタートします。

- ✓ 本プロジェクトでは、色柄食品トレーや透明容器を含む使用済みプラ容器を対象に、CFP社の油化ケミカルリサイクルを軸に、回収から高度選別、ケミカルリサイクル、石油精製、スチレンモノマー化、PS重合から成形品の販売までを一貫して行う水平リサイクルループを構築します。

* 2026年中に岡山・広島県内にて製品回収を開始、2027年から再生プラスチックを使用した製品の全国展開開始を目指しています。

* チェーン各企業は、ISCC PLUS認証を取得しております。



バイオマスPS、リサイクルPSの供給実績推移

- ✓ バイオマスPSは23年度に初出荷して以来、供給先／数量を拡大中。
- ✓ ケミカルリサイクル品の本格的な供給開始は26年度を予定しています。
- ✓ バイオマス／再生プラの需要拡大が見込まれる中、バイオマス／ケミカルリサイクルPSの供給も2030年に向け拡大していく計画。

バイオマス・リサイクルPS 供給数量

■ バイオマスPS (バイオ品)

■ ケミカルリサイクルPS (CR品)



- ◆ 日本の食品容器や包装材において、透明性や嵌合性、発泡性能に優れるポリスチレン(PS)樹脂は必要不可欠な素材です。
- ◆ PSジャパンはPS樹脂のリーディングカンパニーとして持続可能な未来を支えます。責任と覚悟を持って、資源循環社会、カーボンニュートラル社会に資するリサイクルPS、バイオマスPSを提供し、新時代へと歩みを進めて参ります。

ケミカルリサイクルとバイオマスで
ポリスチレンの新時代へ ➡

ご清聴頂きありがとうございました。

ポリスチレンを通じて豊かなくらしを

